

(1) 平成23年2月16日

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181

平成23年2月16日
第43号

門連結成五十周年を迎えて

門連のあり方を考える



元編集委員
相澤宏明

門連発生の背景

日蓮聖人が非滅の滅を現じられてより、聖人の弟子檀那による教線の拡大は目を瞞るものがあった。その拡大は有力な門下が存在してゐた地域を中心として図られたといつてよい。六老僧をはじめとした直弟子の時代、または、後世に輩出した教傑、派祖と目される先師の因縁地などにおける時代など、通じてわが国を席卷する勢ひがあつた。ことに室町期における京都では、諸宗折伏の大運動が奏功し、一國同帰が確実に視界に入るがごとく、聖人の宗教が実現されようとした。

そして、教線の拡大と発展といふ過程で、残念ながら聖人門下は分派していった。分派や分派は厳格な教義・教義論争や、宗旨の継承における正統性など

が原因してをり、当事者にとつては抜き差しならない大問題であつた。他に對して布教する場合、これらのテーマは忽せにできない根本問題と認識した結果、それぞれの立場で聖人の宗旨を弘通しなければならぬといふ使命感が一因をなし、さうした行動に打つて出たのであらう。

かうした対立や分派は、必ずしもマイナス材料ではない。ましてや悪などではない。なぜなら、日蓮門下の教線が發展するために必要な現象と捉へられるからである。分派により教線が衰退したのなら未だしも、さうではなく、いよいよ發展した歴史がある。分派のいい面がここに現れてゐるのであるから、さう捉えてこそ事の実相が把握でき、また先師に對する報恩の誠がい

はねばならない。

◆対外活動を視野に入れる

さうした戦後の昭和三十年代、日蓮聖人門下結集の動きは、多分に対外的な視点を持つてゐたといへる。なぜなら、相互融和のため、たんなる親睦を主にし、相互の利害にもとづき、必要に応じて集まり、お茶のみ話で終るといふ内向きの理由ではなく、当時の社会体制を視野に入れ、いかに時代社会に聖人の宗教を関係づけていくべきか、この視点が重要であり、門下全体でこの問題解決をめざさうとの合意が認められるからである。

再述になるが、日蓮聖人門下連合会（以下門連）結成に尽力した各派の先師がたにより、門下の歴史を踏まへ、かつ軌轢をいかに克服すればいいのか、真剣な討議が重ねられたこと、この点を重視するべきである。そして、先師がたが到達した結論は「祖廟中心」「立正安国の祖願成就」であつたことも注目し、聖人の誓願を継承するための連合の必要性は、かうして確認されたのだ。したがつて、門連の前身である門下懇話会の発生は、昭和三十四年にお迎へした立正安国論獻七百年を記念した対外講演をもつてその基礎としてゐるのである。

外に向けた姿勢があれば、内なる世界の問題も解決に導かれるといふ化他即自行の法門が実践されたわけである。

◆七百年遠忌のをりの合意

門連は今年結成五十周年の節目を迎へる。この間、昭和五十六年にお迎へした七百年遠忌は、門

はなからうか。

◆今後の展望と方向

あれから約三十年が経過した。そして結成三十年からまた二十年が経過した。門連としてこれから何をなすべきか、編集部からいただいたこの課題に對し、気づくままにいささか愚見を披露することを

お許しいただきたい。まづは組織の活性化を目指すべきではなからうか。そのため、門連に關係し、時満じて卒業された方がた、すなはち常任理事・理事・編集委員の再結集を目指すべきであらう。その組織の名称は何でもいから、春秋二回は会合を催し、横の連絡をとることである。

常任理事・理事の隙間を埋め、なほかつ編集委員と常任理事間の橋渡し役となり、各派内に於ける門連の宣伝役を果たす、そのやうな組織を考へてみては

いかがであらうか。つきには結成三十年のをりに点検した門連の今後の課題を、今一度再点検することである。三十年の節目に点検された問題点が、その後二十年間、なにが解決し、なにが解決されてゐないか、このための検証小委員会を常任理事会内に設置し、真剣に討議することで現在抱へてゐる問題点の多くが解決されるはずである。『門連30年の歩み』はそのための絶好の教科書と思ふ

ふがいかであらうか。そのほかにも考へが無いわけではない。しかし、実現可能な課題として以上の二点の提案をもつて、編集部から頂戴した課題への返答とさせていただきます。

現今の「門連だより」発行の編集委員会の基礎をなしてゐる。このことからしても、七百年遠忌時の一過性の成果でなかつたことを証明してゐるといへるので

從地ゆじゅつ

◆第一回の本屋大賞に輝いた『博士の愛した数式』という小説がある。数年前に映画化もされたのでご存じの方も多いはずだ。交通事故に遭い、事故の日以後の記憶が八十分しか維持できなくなつた数

学博士と、シングルマザーの家政婦とその息子の、数学と日常を通した心の交流が生きて書かれた作品である。

◆その中のエピソードの一つに直線の話がある。博士に直線を書いてみなさいと言われた家政婦が、鉛筆で紙にまっすぐ線を引くのに對して、博士は「直線の意味を理解はしているが、それは直線ではない。太さもなく、始まりも終わりもない本当の直線を現実の紙に描くことは不可能なのだ」と言つた。

◆博士は自分の八十分しか維持出来ない記憶を線分、実際に経験した全てのことを直線と譬喩して話したようにも思える。八十分しか無いように見える記憶も本当はすべて前から、そしてこれからは全部有るんだよ、と。その八十分という数字が積尊の生涯八十年に重なつて見えるのは私が仏門にいるせいであらう。

◆幾何学を教えてくれた中学時代の恩師が最初に教えてくれたのも直線の定義であつたと記憶している。試験の回答においては式や図に過不足が無いだけでなく、字の綺麗さや字配りでも減点され、平気で〇点をつけられた。生活態度、服装、姿勢についても厳しく指導を受けた。当時は随分厳しい先生だと思つたが、自分は指導を受けていたのは幾何学だけでなく成人してからであつたらうか。

◆その恩師もすいぶん前に故人となつた。しかしその教えは今も直線の様に私の胸に生きてゐる。仏とはまさに斯くの如きを言うのであらうか。(敬)

《各派のページ》第一回「日蓮宗宗門内外で活躍する僧侶」



日蓮宗大明寺住職 楠山泰道さん

子どもの自立のために親自身が意識を変えて

私は元高校教師。以前は非行に走る子どもも多く、私もその更正に取り組みむようになりまし
た。「せっかくの未来がある若
者を助けなければ」……その思
いから、さまざまな問題を抱え
る青少年とその家族からの相談
に応じてきました。そして世間
を騒がせたオウム真理教の事件
後、仏教者として信者の脱会へ
の協力を求められ、その脱会活

（プロフィール）
くすやま・たいどう 昭和
22年、神奈川県生まれ。立正
大学仏教学部卒業。日蓮宗大
明寺の住職を務め傍ら、社会
福祉法人立正福祉会「青少年
こころの相談室」室長として、
不登校やひきこもり、自殺未
遂、カルト入信トラブルなど、
青少年の心の問題に取り組む
。「青少年こころの相談室」
<http://www.daimyoji-norijp.kokoro-sodansitu>



戸澤宗充さん

人に「ありがとう」と言ってもらえることが一番の生きがいなのです

私が三十三歳のとき、夫が突
然、交通事故で亡くなりました。
私が次男を出産した二日後のこ
と。私は夫の死を受け止められ
ず、「死のう」とばかり思って
いました。
家の近くの踏み切りの前に立
ち、「今だ！」と思ったときで
す。私より先に飛び込んだ人が
いたのです。悲惨な状況を見た
私は死を思いとどまりました。
後に仏様の教えを知ってから、

（プロフィール）
とざわ・そうじゅう 昭和
12年、東京都生まれ。33歳の
とき、夫が交通事故死。悲し
みの中で仏教と出会い、法華
経信仰へ。46歳で日蓮宗の尼
僧として出家、布教師として
全国を回る。平成15年、悩め
る女性の駆け込み寺として「サ
ンガ天城」を設立。

動に取り組みました。数多くの
オウム信者と会い、脱会の手助
けをしたのです。これを発端に、
脱カルトの活動にも数多く取り
組んできました。

母親が安心するような「いい子」が実は危険！

「カルト」と聞くと、みなさ
んは自分には関係のない話だと
思うかもしれません。しかし、
決して特別なことではないので
す。ひきこもり、自殺未遂、リ
ストカット、麻薬……現代の若
者が抱えるこれらのトラブル
は、実はカルトとイコール。社
会の中に自分の存在理由を見出
せない若者たちは、夢や希望が
持てなくなり、心を病んで生き
ることがイヤになります。病め
ば何かにすがるのは当たり前。
救いを求めようとカルトに走る

トラブルが生まれる前に予防することが大切

「不幸だったけれど、すべては
私にとって必要なことだったの
だ」と思えるようになりました。

駆け込み寺を求める女性たちのために……

夫を亡くした悲しみの中で、
私は「仏教はすばらしい」と言
っていた夫の声を思い出しまし
た。夫はクリスマスチャンですが、
教義に対して疑問を持っていた
のかもしれない。書棚には法
華経や日蓮聖人の教えの本があ
りました。それが仏教との出会
いでした。

最初は信者として、お題目に
すがって生きました。そして四
十六歳で出家。「このすばらし
い教えを、少しでも多くの人に
伝えることが私の使命だ」と思
えるようになったのです。私は
布教師として全国を回って歩き
ました。でも、「説教してるだ

のは、むしろ正常な行為ともい
えます。カルトに救いを求める
者もいれば、ひきこもりやリス
トカットなどで自分を守ろうと
する者もいます。世の中が病め
ば病むほど、こうした若者が増
えていくのです。

今は昔のような非行はなく
りました。だから今、トラブル
を抱えるのは悪い子ではなく、
むしろいい子。何事にも疑問を
持たず、自分で考えることをし
ない現代の子どもたちです。素
直ないい子は、お母さんから見
ればホッとするかもしれません
。でもそれは自分を出せない
ということ。言われるままに信
じてしまうということは、カル
トなどにも走りやすいというこ
とです。そうした子どもになっ
てしまふ要因の一つは親。子育
てを勘違いして、子どもを抱え
込みすぎるのも問題なのです。

我が子をカルトや自殺未遂な
どのトラブルから守るためには
4つのポイントがあります。
子どものことを一番わかって
いるのは自分だと思わないこ
と。理解していると思うから本
当の悩みが見えないし、子ども
も話しくくなるのです。
子どもに疑問を持たせるこ
と。自分で考えることは自立へ
の第一歩でもあります。
本当の宗教とは何かを学ぶこ
と。宗教を特別視してはいけま
せん。ファザールレス（＝父親不
在）にしないこと。反抗期や自
立期は特に父親の出番。社会に
飛び立つ術を教えるのは父親の
役目です。母子家庭の母親は父
親の分もがんばろうとするかも
しれません。でも一人では無理。
周囲に父親にかわるサポート役
を作っておくべきです。
親が意識を変えれば子どもも変
わります。子どもにとっても家族
にとっても再生となるのです。

「人のために動く」と書きます
ね。あなたが働いたことによっ
て、人がどれほど喜ぶか。単に
お金を儲ければいいということ
ではなく、自分の存在を人に喜
んでもらえるということ……そ
れが働くということ。そして、
人に喜ばれることが「生き
がい」になるのです。
家族の間でも同じです。夫は、
妻は、子どもは、何を望んでい
るのだろうか？ この人のため
に私は何をしてあげられるだろ
うか？……相手の心を考えて
あげる気持ちを育てることが大
切です。

何となく生きるのではなく自分のできることを考えて

ここに来る女性たちは、DV
やうつ病など、大きな問題を抱
えています。そんな大変な問題
ではないにしろ、誰もが問題や
悩みを抱えているでしょう。み
んなに共通しているのは「生き
がい」がないということ。何の
ために生きてるのか、わからな
いのです。
例えば、「働く」という字は

「人のために動く」と書きます
ね。あなたが働いたことによっ
て、人がどれほど喜ぶか。単に
お金を儲ければいいということ
ではなく、自分の存在を人に喜
んでもらえるということ……そ
れが働くということ。そして、
人に喜ばれることが「生き
がい」になるのです。
家族の間でも同じです。夫は、
妻は、子どもは、何を望んでい
るのだろうか？ この人のため
に私は何をしてあげられるだろ
うか？……相手の心を考えて
あげる気持ちを育てることが大
切です。
本当の喜びは、人に喜んで
もらうことです。自分の存在が人
に喜びを与えること、「ありが
とう」と言ってもらえる生き方
ができること。それが一番の
「生きがい」。小さなことでも
いいのです。いま、あなたにできる
ことは何ですか？

旅・生・活
PLUS JTB

価値ある時間の贈り物 おふたりの思い出を選ぶギフト券
JTBプレミアージュ

JTBプレミアージュは、特別なおふたりのための選択型ギフト券です。贈られたかたは、同封のカタログから、厳選された店舗や施設でのグルメ、宿泊、エンタテインメント、ゴルフ、リラクゼーションいずれかのサービスを選び、おふたりでお楽しみいただくことができます。（券面は50,000円のみ。有効期間は発行の翌日から1年間です。）

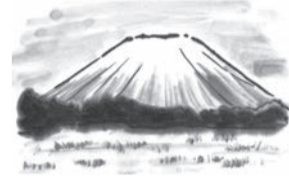
ずっとあこがれていたあのお店へ、
知る人ぞ知るギフト券で行きました。

プレミアージュの価値をお約束する、選べる5つのプラン

グルメ
宿泊
エンタテインメント
ゴルフ
リラクゼーション

お求めは旅のJTB各支店・JTBトラベランド各店プレミアージュ取扱店で、
またはPLUS JTBサービスセンター 0570-039-714
www.jtb.co.jp/gift/

平成三十三年二月十六日は
宗祖御降誕八百年を
迎えます



(平成二十三年二月現在)

日蓮宗宗務院

宗務総長	渡邊照敏	財務部長	米田宣雄
伝道局長	関谷泰教	宗務総長室長	渡邊義生
総務局長	駒野教源	現代宗研究所長	三原正資
伝道部長	古河良皓	参 与	渡邊一之
教務部長	塩崎望巳	参 与	吉田海心
総務部長	梶山寛潮	日蓮新聞社長	草ヶ谷秀人

〒146-8544 東京都大田区池上一一三二一五
電話 〇三(三七五二)七二八一
FAX 〇三(三七五二)七二八六

法華宗(本門流)宗務院

管 長	菅原日桑
宗務総長	二瓶海照
庶務部長	佐藤義賢
財務部長	久永晃顕
布教部長	斎藤舜駒
教務部長	金井孝顕
	松本義仙

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九一
電話 〇三(五六一四)三〇五五(代)
FAX 〇三(五六一四)三〇五六

顕本法華宗宗務院

管 長	中村日玄
宗務総長	藤崎広学
宗務次長	朝倉俊幸
財務部長	藤崎行学
教務部長	早川義正
布教部長	吉永康成
庶務部長	阿曾久安
社会部長	飯澤道安

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管長代行	佐古弘文
宗務総長	門谷光瑞
総務部長	布施義高
教務部長	布古大弦
教化部長	佐原孝宜
財務部長	金井満良
企画部長	今井満良

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五三三五六
電話 〇三(三九一八)七二九〇
FAX 〇三(三三七七)〇二二一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長	佐藤日凰
宗務副総長	梅田日芳
宗務副総長	伊藤隆之
教務局長	亀井日魁
弘通局長	長谷川日堯
総務局長	岡本日盈
出版局長	藤本日涌
財務局長	西村日勲

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上多東町二一〇番地
電話 〇七五(四六一)一六六(代)
FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長	嘉儀日有
宗務総長	岩崎広義
総務部長	原田智光
財務部長	原田智光
教務部長	原 光

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上九法皇町四四八
電話 〇七五(七七二)三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長	田中日生
宗務総長	寺田完英
総務部長	堀田智泰
教務部長	堀内浩善
教化部長	木村完祥
財務部長	安立修学
社会部長	上田泰源

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上九紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四二)五七六二
FAX 〇七五(四四二)五五六六

本門法華宗宗務院

管 長	松下日肆
宗務総長	藤井日靖
総務部長	吉村日彦
宗務部長	増田隆雄
財務部長	土畑信教
教務部長	山田岳隆
庶務部長	高邊晶啓

〒542-0015 大阪市中央区中寺二丁一四一久成寺内
本門法華宗宗務院大阪事務所
電話 〇六(六七六三)三三四五
FAX 〇六(六七六三)三三四六

宗教法人 国柱会

賽 主	田中壮谷
理事長	田中勇一郎
門連帯任理事	本間直暉
門連理事	藤本坦孝
門連理事	原田義彦
門連理事	森山真治
編集委員	的場春奈
編集委員	
編集委員	

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九一八
電話 〇三(三六五六)七二二(代)
FAX 〇三(三六五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会

会 長	伊丹日章
副会長	菅原日桑
理事長	藤井照源
副理事長	吉本宣文

京門連事務局
〒606-8376 京都市左京区二条通川端東大菊町九六
頂妙寺布教会館内日蓮宗京都府第一部宗務所内
電話 〇七五(七六二)二四一一
FAX 〇七五(七五二)九三三八

日本山妙法寺大僧伽

首 座	吉田行典
責任役員	酒井天信
同	今井行康
同	池田行朗
同	二宮和嘉
同	木津博充
同	川岸行孝

日本山妙法寺大僧伽事務局
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
電話 〇三(三四六一)九三六三
FAX 〇三(三四六一)九三六七

日蓮宗総本山 **身延山久遠寺**

法主 内野 日総
 総務 井上 瑞雄

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延
 電話 〇五五六(六二)一〇一一
 FAX 〇五五六(六二)一〇九四

法華宗(陣門流)総本山 **本成寺**

貫首代行 佐古 弘文
 執事 鈴木 顯正
 執事 栗原 孝之
 執事 荒川 公孝
 執事 近藤 正義
 執事 五十嵐 昭

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇
 電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
 FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

本門佛立宗本山 **宥清寺**

住持 小山 日誠
 執事 中西 清乘
 事務局長 伊藤 隆之

〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ノ鼻町二〇五―一
 電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
 FAX 〇七五(四六三)四六五一

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 **富士山法華本門寺根源**

貫首 旭 日重
 執事 川名 義顕
 参与 吉田 日綱
 参与 井野上 正文

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五
 電話 〇五四四(五八)一〇〇四
 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 **藻原寺**

貫首 持田 日勇
 総務 増田 寶泉
 執事 富永 一道
 〃 中川 貫泰

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一
 電話 〇四七五(二三)三二五三
 FAX 〇四七五(二三)一七三三

日蓮宗大本山 **池上本門寺**

貫首 酒井 日慈
 執事 野坂 法雄
 役員 一同

〒146-8576 東京都大田区池上一―一―一
 電話 〇三(三七五)一三三三一
 FAX 〇三(三七五)三三五〇

法華宗(真門流)総本山 **本隆寺**

貫主 田中 日生
 執事 足立 真正
 執事 本多 信正
 書記 永岡 悠希
 書記 笹木 研吾

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル 紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

日蓮宗大本山 **清澄寺**

日蓮聖人出家得度之霊跡
 別当 二宮 將泰
 執事 佐々木 光道

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一
 電話 〇四(七〇九四)〇五二五
 FAX 〇四(七〇九四)〇五二七
 団参には是非、研修会館をご利用ください。
 一六〇名様まで可。

日蓮宗大本山 **中山法華経寺**

貫首 新井 日湛
 参与 田代 浩敬
 参与 渡辺 行俊
 参与 植田 観樹
 参与 吉田 文堯
 参与 布施 慈範

〒272-0813 千葉県市川市中山二―一〇―一
 電話 〇四七(三三四)三四三三
 FAX 〇四七(三三四)一七九六

京都 **八本山会**

大本山 妙顕寺 貫首 吉田 日厚
 大本山 本願寺 貫首 伊丹 日章
 本山 妙覚寺 貫首 大塚 日行
 本山 本法寺 貫首 上田 日瑞
 本山 立本寺 貫首 野々垣 日祐
 本山 妙傳寺 貫首 安藤 日瑛
 本山 頂妙寺 貫首

法華宗(本門流)大本山 **本興寺**

貫首 小西 日遠
 執事 吉本 宣文
 役員 一同

〒660-0862 兵庫県尼崎市開明町三―一―三
 電話 〇六(六四一)三三二七
 FAX 〇六(六四一)二四三六

本門法華宗大本山 **妙蓮寺**

貫首 松下 日肆
 執事 音羽 隆全
 役員 一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 **誕生寺**

宗祖御降誕八百年に向かつての祈り
 貫首 石川 日命
 執事 村田 教清

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三
 電話 〇四(七〇九五)二六二一
 FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

やくよけ祖師 日蓮宗本山 **堀之内妙法寺**

山主 嶋田 日新

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三―四八―八
 電話 〇三(三三三)六二四一
 FAX 〇三(三三三)五〇〇七

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 **瑞輪寺**

除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安
 貫首 井上 日修

〒110-0001 東京都台東区谷中四―二―一五
 電話 〇三(三八二)四三七三
 FAX 〇三(三八二)七〇三三

顕本法華宗総本山 **妙満寺**

貫首 中村 日玄
 執事 古瀬 久馨
 執事 山本 晃道
 執事 中村 英司
 執事 湯原 正純
 執事 小川 正義

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七二七一
 FAX 〇七五(七九二)七二七六

多寶富士山 日蓮宗本山 **本山要法寺**

貫首 嘉儀 日有
 大学 頭 丹治 日遠
 執事 岩崎 広義
 執事 原田 智光
 執事 原光 明

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

日蓮宗霊跡本山 比企谷 **妙本寺**

貫首 早水 日秀
 執事 立野 正泰
 山務役員一同

〒248-0007 鎌倉市大町一―一―一五―一
 電話 〇四六七(二二)〇七七七
 FAX 〇四六七(二五)六九六七

日蓮宗本山 **頂妙寺**

貫首 安藤 日瑛
 参与 伊東 隆司
 参与 宇根 海静
 参与 新林 昭源
 執事 藤井 知孝
 執事 川合 陽雄

〒606-8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六
 電話 〇七五(七七二)〇五六二
 FAX 〇七五(七五二)一〇〇四

祝門連結成五十周年

平成二十三年一月現在



京都理事会開催される

平成二十二年十一月五日、法華宗（本門流）大本山本能寺（菅原日桑貫首）にて、日蓮聖人門下連合会及び京都日蓮聖人門下連合会との懇談会が開催され、各本山貫首、門連顧問・常任理事・理事等六十七名が参加した。

正午受付開始。昼食後、午後一時より法味言上。菅原日桑貫首親下御導師のもと、渡邊照敏全門連理事長、藤井照源京門連副理事長が脇導師を勤め、本能寺式衆とともに「日蓮聖人門下連合会結成五十周年記念法要・遷化上人追悼法要」が営まれた。

その後本堂前にて記念撮影。午後二時から菅原日桑本能寺貫首の講演「本能寺の沿革」を拝聴した。午後三時理事会開催。全員の自己紹介に続き、全門連上半期事業報告、京都門下連合会事業報告、大阪日蓮聖人門下懇話会より地方門連活動が報告された。その他の議題では、持田貫宣日蓮宗本山藻原寺貫首より「オフトリオ日蓮聖人」公演開催の承諾、及び後援・協賛の申請が出された。理事会終了後、「ホテル本能寺」に場所を移し、会員相互の親睦を深めた。



平成22年11月5日 日蓮聖人門下連合会京都理事会 於：法華宗（本門流）大本山本能寺

無間地獄の道をふさぐ法華経の修行を

京都日蓮聖人門下連合会
京都日蓮聖人門下本山会
御報恩会式法要開催

京都日蓮聖人門下本山会・京都日蓮聖人門下連合会主催による第七百二十九回御会式法要が、十月二日法華宗本門流本山本能寺で開催され、僧侶檀信徒約百名が参加して、宗祖に報恩の誠を捧げた。

法要に先立ち秋晴れの中、各宗僧侶檀信徒四十名により唱題行脚が行われた。

一行は、本能寺を出発し秋の観光シーズンに入り賑やかな寺町通りから二条通りを行脚し、頂妙寺、妙伝寺御真骨堂、囲碁の本因坊で有名な顕本法華宗寂光寺、日蓮本宗要法寺の前でそれぞれ法味言上した。

本能寺帰山後、大本山本閉寺の吉田日厚貫首が、「供養のころ」と題して法話。師は、供養には法供養と財供養があり、父方母方上七代まで塔婆を立てて回向し、亡くなった人は鳥や



星となって残された者たちを守ってくれるのだから、真心のこもった香華灯燭茶菓飯食で応えてほしい、と説いた。

法要は本能寺出仕により、しめやかに執り行われ、最後に吉本宣文理理事長が「無間地獄の道をふさぐ修行をしてください」と挨拶して、一同各派の交流を深めた。

（藤井照源）



▼人事（事務局への連絡日を含む）

御遷化	年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
御遷化	平成二三・一・一五	頂岳日選	日蓮宗	理事	就任	退任
人事			京都門下連合会	顧問		
	平成二三・九・二二	岡本日亘	京都門下連合会	顧問	就任	退任
	平成二三・一・一五	菅原日桑	法華宗陣門流	相談役	就任	退任
	平成二三・一・一	菅原日桑	京都門下連合会	顧問	就任	退任
	平成二三・一・一	頂岳日選	京都門下連合会	顧問	就任	退任
	平成二三・一・一	吉本宣文	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
	平成二三・一・一	藤井照源	京都門下連合会	理事	就任	退任
	平成二三・一・一	吉本宣文	京都門下連合会	顧問	就任	退任
	平成二三・一・二九	伊丹日章	京都門下連合会	顧問	就任	退任

毎月3回お届けします。信仰・ふれあい・笑顔・・・

宗門唯一の
伝道紙

日蓮宗新聞

毎月1日・10日・20日
年間購読 **3,600円** (送料込)

教誌 正法

年4回発行 年間購読 **1,700円** (送料込)
一冊350円 (送料別)

お正月(1月号) 春季彼岸(3月号) お盆(7月号) お彼岸・お会式(9月号)

お申込みは 日蓮宗新聞社まで 〒146-0082 東京都大田区池上7-23-3 電話03-3755-5271 FAX03-3753-7028



各派・教団・短信

国柱会

◆平成二十二年九月五日、中央有志園内清掃奉仕。午後中央婦人部主催、唱題法座。十二日、龍口法難会慶讃法要。二十二日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。二十三日、妙宗大靈廟秋季彼岸開頭大供養会。二十五日、国柱会式土任用試験二十六日迄実施。

◆十月十日、佐渡法難会慶讃法要。十二日、日蓮聖人御遠夜法要。午前中、田中養主以下国柱会有志にて池上、大坊参拝。参拝後、中央有志此経難事坂上で屋外宣伝奉行。十三日、聖祖鶴林会報恩法要。十六日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。十七日、妙宗大靈廟例月供養会。二十三日、二十四日、第四十六回身延大祖廟輪番給仕国柱会奉仕団開催。

◆十一月三日、明治節慶讃法要。田中養主以下中央有志午前中明治神宮参拝。六日、田中養主、日蓮聖人門下連合会京都理事会出席。十一日、小松原法難会慶讃法要。十四日、国柱会全国定例協議員会開催。十六日、恩師田中智学先生御遠夜法要。十七日、恩師師子王院智学日謙大居士第七十二遠忌報恩大会。二十日、二十一日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。二十一日、妙宗大靈廟例月供養会。二十二日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。十九日、妙宗大靈廟例月供養会。二十三日、天長節慶讃法要。三十一日、福茶の会。送旧迎新式厳修。

京門連

◆一月二十日(木) 午後五時 (森山真治)

理事会(本能寺文化会館)。平成二十三年度役員確認の件、平成二十二年年度決算の件、平成二十三年年度決算の件、平成二十三年年度予算案の件、平成二十三年度総会の件、平成二十三年度降誕会の件、その他。

◆二月十六日(水) 午後一時 京門連総会(日蓮宗本山本満寺)。平成二十三年度役員確認の件、平成二十二年年度決算の件、平成二十三年年度決算の件、平成二十三年度予算案の件、平成二十三年度総会の件、平成二十三年度降誕会の件、その他。

◆同日二時三十分 降誕会(日蓮宗本山本満寺)。導師 本山本満寺貫首 伊丹日章院下、講師 大本山本能寺 貫首 菅原日桑院下。

◆三月九日(水) 午後四時 理事会(日蓮宗京一宗務所)。立教開宗会の件、第四十七回夏季大会の件、四月二十八日(木) 立教開宗会(比叡山横川定光院)。導師 京門連会長(日蓮宗本山貫首院下)、講師 法華門流 布教師、昼食 峰道レストラン予定、観光は未定。

◆五月 全門連身延理事会(身延山久遠寺)。

◆六月十四日(火) 午後四時 理事会(日蓮宗京一宗務所)。第四十七回夏季大会の件、お会式の件、その他。

◆八月二十七日(土) 午前十時開講 第四十七回夏季大会(本能寺文化会館)。講師(本山) 日蓮宗本山立本寺 貫首 上田日瑞院下。

◆同日午後四時 理事会(本能寺文化会館)。お会式の件、その他。

◆九月三十日(金) 午後二時 お会式準備奉行委員会(本山立本寺) お会式準備(万灯の搬入、組立)、会場設営、御宝前荘厳、法要等打ち合わせ、清掃。

◆十月一日(土) 午後一時 市中唱題行脚(予定)。

◆同日午後二時三十分お会式(日蓮宗本山立本寺)。導師 日蓮宗本山立本寺 貫首 上田日瑞院下、講師 法華門流本山貫首院下。

◆十一月午後四時 理事会(日蓮宗京一宗務所)。全門連京都理事会の件、その他。

◆十一月午後一時 全門連京都理事会(日蓮宗本山妙傳寺)。全門連理事会・先師法要導師・講演(日蓮宗本山妙傳寺 貫首 野々垣日

日蓮宗

◆総本山身延山久遠寺の古式豊かな「御年頭会」が一月十三日に行われ、六老門跡寺院貫首をはじめ宗務内局ら僧侶檀信徒約四百五十人が参列し、祖師堂で年頭会法要、法要後には境内で「曳馬式」があり、装束をまとった二頭の白馬が内野日総法主院下から人參を頂戴した。

◆東京都大田区池上の本山大坊本行寺の貫首に中野日演師(静岡県伊東市廣宣寺住職)の就任が決まり、日蓮宗宗務院で昨年十二月二日、辞令伝達式が行われた。

◆初転法輪の地、インド・サルナトにある日月山法輪寺で仏舍利塔が完成し、昨年十一月二十五日、渡邊照敏宗務総長を導師に落慶法要が営まれた。

◆四月九日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑において戦没者慰霊法要が行われ、法要終了後、二瓶海照宗務総長の挨拶があり、ご自身の尊父も戦地にて亡くなっており、この墓所に一片のお骨が埋葬されていることへの感慨をお話になられ、平和の大切さを訴えられた。

◆第六十四次定期宗会が五月十八日、二十日に宗務院において開催された。

◆全国宗務所長が五月二十六日、二十七日に宗務院において開催された。

◆大本山本能寺貫首岡本日巨院下が、二期十年の任期を満了され御退職された。選挙の結果、前宗会議長菅原日桑上人(吹田市法華寺住職)が当選し、平成二十二年九月二十二日付けで第百三十九代貫首に就任、十月十三日に晋山式が奉修された。

◆大本山本興寺貫首有原日龍院下が、二期十年の任期を満了され御退職された。選挙の結果、前興隆学林長小西日邊上人(神戸市法華寺住職)が当選し、平成二十二年十二月十二日付けで第百三十四代貫首に就任、平成二十三年二月二

本門佛立宗

◆佛立第二十四世講有大僧正小山日誠院下が発願された開講二百年(二〇五〇)の「佛立倍加」(教務信徒の倍増)を目指し、宗門は宗務総長佐藤日風師のもとに平成二十五年の「門祖日隆聖人五五〇回御遠誼」に向かって邁進している。

◆報恩御奉公の初年度である昨年の二月には、全寺院の住職および事務局長が本山へ参集して決起大会を挙行し、教務員の増加、正宗の充実、助行(信徒宅巡回)御奉公者の増加について、本山御宝前に立誓した。本年度は、御奉公のさらなる発展を図る。

◆門祖五五〇回御遠誼の記念として、宗門は第一九四回臨時宗会において、宗務本庁を置く第一佛立会館の震災対策として新たに会館造営を議決し、本年の着工、明年の完成を目指す。

◆記念行事としては本山宥清寺(京都)に全国の青少年が参詣する「青少年の一座」を平成二十四年に開催するため、本年から弘通局に実行委員会を組織する。青年会員も企画実行に参加し、次世代信徒の養成を促進する。同二十五年度のご正當にも大法要を計画中である。

◆かねてより特別委員会を設置し熟議を重ねていた宗制改正については、本年度内に具体的な改正と施行の段階に入っている。

◆弘通においては各寺院で活発に御奉公が進められ、宗内に向けて機関誌に逐次報告がなされ、宗門人の弘通意欲はさらに向上している。

◆そして、海外に寺院の拠点がある韓国、台湾、ブラジル、アメリカでの弘通活動のため積極的に国内から信徒が団参をされている。また、海外で居住する信徒が現地でも折伏教化をされ、インド、スリランカ、フィリピン、シンガポール、タイ、オーストラリア、イタリア、イギリス、フランス、

法華宗本門流

◆四月九日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑において戦没者慰霊法要が行われ、法要終了後、二瓶海照宗務総長の挨拶があり、ご自身の尊父も戦地にて亡くなっており、この墓所に一片のお骨が埋葬されていることへの感慨をお話になられ、平和の大切さを訴えられた。

◆第六十四次定期宗会が五月十八日、二十日に宗務院において開催された。

◆全国宗務所長が五月二十六日、二十七日に宗務院において開催された。

◆大本山本能寺貫首岡本日巨院下が、二期十年の任期を満了され御退職された。選挙の結果、前宗会議長菅原日桑上人(吹田市法華寺住職)が当選し、平成二十二年九月二十二日付けで第百三十九代貫首に就任、十月十三日に晋山式が奉修された。

◆大本山本興寺貫首有原日龍院下が、二期十年の任期を満了され御退職された。選挙の結果、前興隆学林長小西日邊上人(神戸市法華寺住職)が当選し、平成二十二年十二月十二日付けで第百三十四代貫首に就任、平成二十三年二月二

頭本法華宗

◆十月十九日、浜野本行寺において東部教区連合会が開催された。先師報恩法要を虔修した後、寺院デザイン代表取締役・薄井秀夫氏による「永代供養と寺院活性化」と題する講演があった。

◆十月十九日(会場:京都総本山妙満寺)、十一月十六日(会場:東金妙善寺)の両日、東西教区に分かれて僧員研修会を開催した。昨年本宗へ帰入された河村孝照師(元東洋大学教授・文学博士)を講師に、「摂受と折伏」と題する講義があり、大勢の僧員が出席した。

◆十月二十五日・二十六日の二日間、京都総本山妙満寺において妙塔学林研究科を開講した。

◆十一月二十七日・二十八日の両日、品川天妙国寺において法華宗三派統合協議会「統合学院(後期)」が開催された。窪田哲生師(教育学研究所長・妙塔学林教授)を講師に、「日蓮著『法華宗略名目』講読(その2)」と題する講義が行われた。

◆十二月八日、横浜常支寺において日什門流懇話会が開催された。研修会では、長谷川正浩先生(全日本仏教会顧問弁護士)を講師に、

本門法華宗

◆六月一日(五) 函館・妙見寺にて「布教師養成所(第十一期生・二年目)」開所。十一名が参加。

◆八月二十一日(二十八日) 旭川・立正寺にて、支学林並びに第三種講習会開催。

◆八月二十三日(二十九日)、総本山本隆寺にて夏季講習会開催。

◆九月四日、大阪国際会議場にて、第一教区宗務所主催「秋の佛教講演会」開催。日蓮宗専任布教師の村尾泰孝師による講演。七十六名が参加。

◆九月五日、神戸市立西区民センターなでしこホールにて、第三教区仏教大講演会開催。大谷大学前学長の木村宣彰名誉教授による講演。約二百名が参加。

◆十月五日(十四日)、総本山本隆寺にて秋季学林開講。十三日には四人が新説式を挙行。

◆十月十二(十三日)、総本山本隆寺にて「高祖日蓮大聖人御報恩御会式法要・伊豆御法難750年度慶讃法要」奉修。

◆十月十二(十四日)、第二教区合掌の旅護法会開催。池上本門寺参拝。百四十名が参加。

◆十二月六日(七日)、「平成二十二年定期宗会」開催。

◆一月一日(八日)、総本山本隆寺にて年頭国持会、法華八講開催。

(森田)

◆二十二年十月十二日(十三日)、大本山妙満寺(松下日肆貫首)に於いて、宗祖日蓮大聖人御会式法要が厳修された。併せて、天明の大火以来途絶えていて、復興して十六回目の万灯会が開催された。

◆同十一月十二日、大本山妙満寺に於いて御開山日像菩薩御報恩法要並びに三師会・歴代人法要が松下日肆貫首御導師のもと、奉修された。

◆第四十六回京都非公開文化財特別公開の寺社に妙満寺が選ばれ、長谷川派障壁画が特別公開された。

◆本門法華宗学院(渡辺日恩学院

日蓮聖人門下連合会

●目的
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。

●事業
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。

- 1、祖廟護持の組織強化
- 2、教育事業の提携
- 3、布教の連合強化
- 4、懇談会・研究会・講演会等の開催
- 5、各種出版物の刊行
- 6、海外布教の提携及び交流
- 7、対外的な各種の運動
- 8、その他

●加盟団体
日蓮宗 法華宗本門流
頭本法華宗 法華宗門門流
本門佛立宗 日蓮本宗
法華宗真門流 本門法華宗
国柱会 日本山妙法寺
京都門下連合会